

平成18年度決算報告

財政状況

秋田市の平成18年度一般会計・特別会計の決算が、昨年12月の市議会で認定されました。みなさんが納めた税金、国からくるお金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

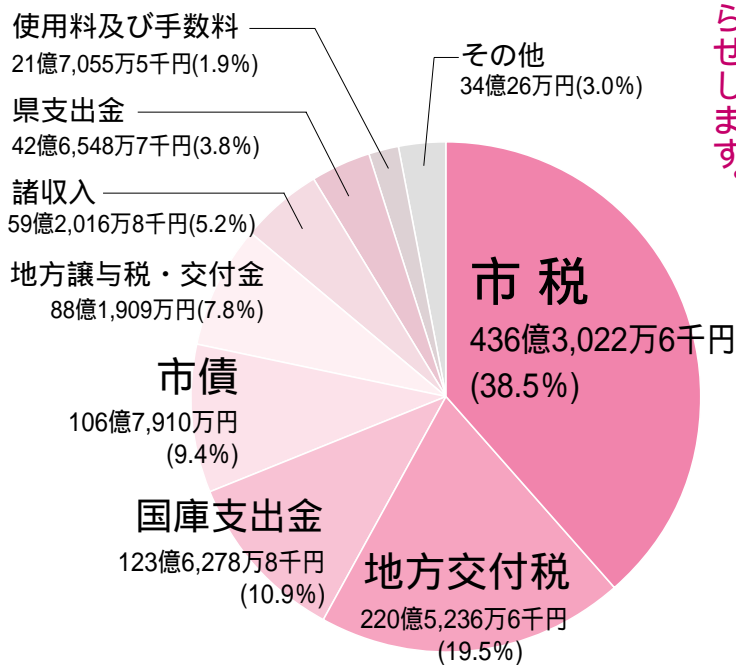
一般会計

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費のことです。

平成18年度は、歳入から歳出を差し引いた残り15億8千157万3千円から、平成19年度に繰り越した事業の財源となった2億763万5千円を除き、13億7千393万8千円の黒字になりました。

歳入では、地方譲与税や市税が増えました。歳出では、国民健康保険事業会計や老人保健医療事業会計への繰出金が増えたことにより、民生費の割合が大きくなっています。

歳入 1,133億4万円



特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。



会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A) - (B)
土地区画整理会計	18億8,006万1千円	17億1,029万1千円	1億6,977万円
市有林会計	1億6,673万3千円	1億6,121万2千円	552万1千円
市営墓地会計	7,376万1千円	5,772万2千円	1,603万9千円
中央卸売市場会計	6億6,326万9千円	6億4,188万1千円	2,138万8千円
農業集落排水会計	13億1,901万4千円	12億9,250万6千円	2,650万8千円
大森山動物園会計	3億7,209万6千円	3億6,819万9千円	389万7千円
廃棄物発電会計	1億6,955万9千円	1億6,123万3千円	832万6千円
国民健康保険事業会計	282億3,588万円	279億6,330万1千円	2億7,257万9千円
老人保健医療事業会計	313億7,437万2千円	309億7,441万1千円	3億9,996万1千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億3,210万7千円	4,868万3千円	8,342万4千円
介護保険事業会計	170億7,870万3千円	167億9,294万1千円	2億8,576万2千円
合計	814億6,555万5千円	801億7,238万円	12億9,317万5千円

公営企業

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」と表しています。公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

市立病院

医療に対する市民のニーズに応えるため、高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。

収益的支	収入	91億4,392万 円
	支出	92億5,587万1千円
	差引	- 1億1,195万1千円
累積欠損金		32億6,524万8千円
資本的収支	収入	8億2,813万6千円
	支出	11億9,055万3千円
	差引	- 3億6,241万7千円
	補てん財源	施設の償却費など
	財源	3億6,241万7千円

資本的収支には消費税を含みます

水道事業

古くなった配水管を交換したり、水の出が悪い地区に新たに配水管を整備したりしました。また、浄水場や配水幹線などの施設も整備しました。

老朽化した河辺岩見地区の5つの簡易水道を1つに統合整備しました。

収益的支	収入	74億5,147万3千円
	支出	73億6,487万3千円
	差引	8,660万 円
資本的収支		収入 31億1,623万8千円
		支出 55億9,188万 円
		差引 - 24億7,564万2千円
		補てん財源 積立金や施設の償却費など
		24億7,564万2千円

下水道事業

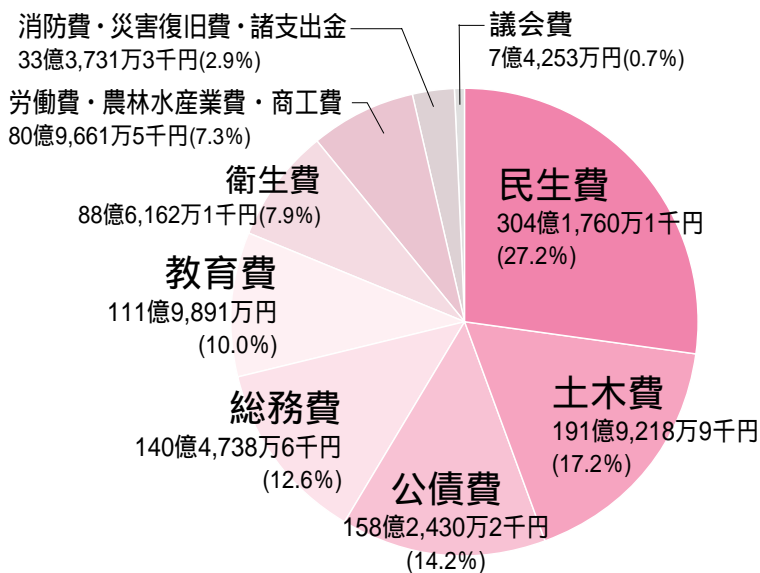
トイレや台所などからの生活排水を処理場まで送る「汚水管」や、雨水による浸水を防ぐための「雨水管」を整備しました。ポンプ場や終末処理場などの施設も整備しました。

また、古くなった下水道管の交換や補強を行いました。

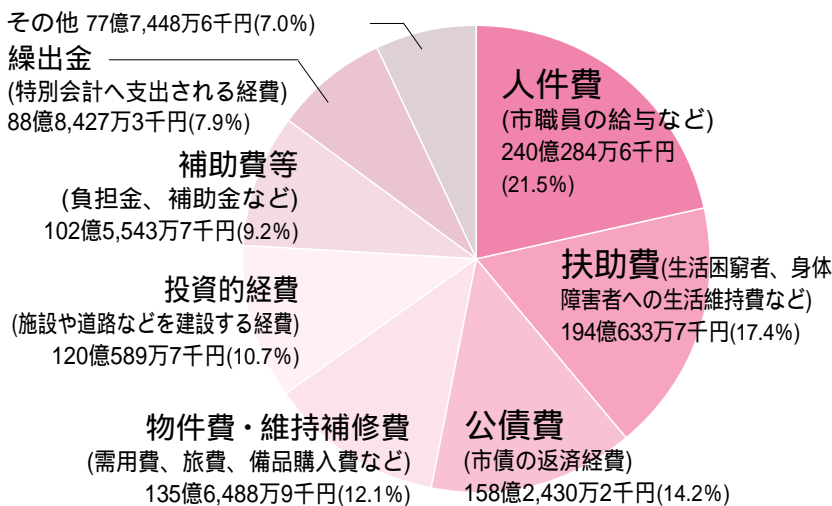
収益的支	収入	98億6,119万9千円
	支出	95億3,025万4千円
	差引	3億3,094万5千円
資本的収支	収入	87億9,234万3千円
	支出	124億6,103万 円
	差引	- 36億6,868万7千円
	補てん財源	積立金や施設の償却費など
	財源	36億6,868万7千円

歳出 1,117億1,846万7千円

目的別にみると...



性質別にみると...



民生費：高齢者や身体・知的障害者の施設、保育所への補助、高齢者の介護予防、子育て相談、子育てクーポンの交付、生活保護など
 土木費：都市計画道路、太平山リゾート公園、北野田公園の整備、セリオンの公設化など
 総務費：選挙、統計調査、固定資産税地理情報システムの構築、コミュニケーションセンターの整備、町内会への助成など
 教育費：広面小学校と秋田東中学校の大規模改造、幼稚園への補助、公民館や図書館などの各種講座など
 衛生費：基本健康診査や各種検診、乳幼児の予防接種、高齢者のインフルエンザ予防接種、第2リサイクルプラザの整備、家庭こみの収集など
 労働費・農林水産業費・商工費：中小企業への融資あつせん、求職中のかたへの技能講習、農道・林道整備など
 議会費：議会の運営など

平成18年度一般会計のおもな使いみち

秋田市の財産と借金をお知らせします



2〜3ページの決算報告は、1年間の会計年度に区切って、お金の出入りを記録したものです。この方式では、長期にわたって私たちの秋田市に蓄積された資産や負債(借金)がどのくらいあるのかは、わかりません。

そこで、秋田市が現在、道路や公園、教育施設、ごみ処理施設、市営住宅、保育所、消防施設などの財産をどのくらい持っている、同時に将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示した資料が、左の貸借対照表(バランスシート)です。

ここには、市民のみなさんにサービスを提供するための秋田市の「資産」がどれくらいあり、またその資産についてこれまでに支払いが済んでいるお金「正味資産」と、これから支払わなければならないお金「負債」がどれくらいあるのかが示されています。

なお、地方公共団体の活動目的は住民福祉の増進であることから、「利益」という概念を持っていません。したがって、貸借対照表は「収益性」よりも「安全性」や世代間負担の「公平性」などを明らかにする視点で作られています(総務省方式)。



Check!

秋田市の財政事情

平成18年度の秋田市の財政状況を、財政の健全性を表す「財政指標」で見ると、決して良好とはいえない状況にあります。市債の発行を抑えるなど、健全な財政運営に努めます。

財政力指数 0.646

類似都市平均値 0.736

標準的な行政活動を維持するために必要な一般財源(基準財政需要額)に対して、標準的な状態で徴収できる税金(基準財政収入額)がどれだけあるかという指標。「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えると財政的に余裕がある自治体といえます。

経常収支比率 87.4%

類似都市平均値 88.7%

人件費、扶助費、公債費(借入金)など毎年支出される経常的経費に、市税、地方交付税など毎年入る経常的一般財源がどの程度使われているかを示す数字。80%を超えると投資的事業に使う自由なお金が少なくなり、財政が硬直化傾向にあります。

公債費比率 16.6%

類似都市平均値 15.7%

歳入の一般財源(使い道が自由なお金)における公債費の割合。財政構造の健全性がおびやかされないためには10%を超えないことが望ましいとされています。

実質公債費比率 15.5%

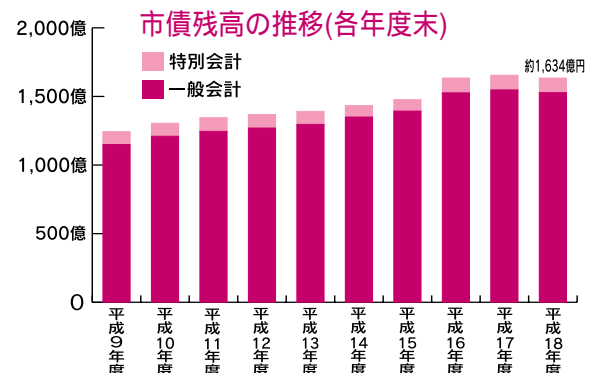
類似都市平均値 14.4%

公営企業の公債費へ支出する繰出金も含めた、市全体の公債費の状況を示すもの。平成17年度決算から使われている新しい指標です。18%を超えると地方債の発行に県の許可が必要になり、25%を超えると単独事業の起債が認められなくなります。

類似都市...平成18年4月1日現在、中核市で、平成17年度国勢調査人口が40万人未満の都市(15市)

秋田市の市債

「市債」とは市の借入金のこと。将来にわたって返済していくことにより、道路や学校など永続的に役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらうこととなります。



貸借対照表ってなに？

例えば、一般家庭で、現金と銀行から借りたお金で車を買ったとします。その結果、資産(車)と同時に、銀行から借りた分の負債(借金)、現金で支払った分の正味資産が発生します。

資産・負債・正味資産の3つの状態を表したのが貸借対照表です。左側(借方)と右側(貸方)は、必ず同じ金額になるので、バランスシートと呼ばれます。

秋田市の貸借対照表(バランスシート) 平成19年3月31日現在

借方 ... 昭和44年以降
市がつくったさまざまな資産

貸方 ... 昭和44年以降資産をつくるために
市が調達した資金

資産合計 4,081億8,987万5千円

負債・正味資産合計 4,081億8,987万5千円

資産の部 ...将来の世代に残る財産や権利など

負債の部

1 有形固定資産 ...長期間にわたって行政サービスを提供するために使用される土地、建物、機械などの資産

合計 1,679億2,141万6千円

...今後支払いや返済が必要となる、
将来の世代が負担する借金

(1)総務費	127億7,659万6千円	◀ 市庁舎など
(2)民生費	86億9,584万5千円	◀ 保育所、デイサービスセンターなど
(3)衛生費	296億2,824万1千円	◀ 保健所、総合環境センターなど
(4)労働費	32億5,785万7千円	◀ 労働者福祉施設など
(5)農林水産業費	95億3,659万5千円	◀ 農林道など
(6)商工費	64億7,035万8千円	◀ 観光施設など
(7)土木費	1,738億7,201万1千円	◀ 道路、公園、市営住宅など
(8)消防費	51億4,072万4千円	◀ 消防庁舎、特殊車両など
(9)教育費	1,087億9,014万4千円	◀ 小中学校、公民館など
(10)その他	4,582万6千円	

1 固定負債

(1)地方債 1,416億9,068万1千円
...市の借金(市債)の残高のうち翌々年度以降に返済が必要となる元金の金額

(2)債務負担行為 0円

物件の購入等 0円

債務保証又は損失補償 0円

(3)退職給与引当金 134億5,916万6千円

...年度末に在籍する全職員が普通退職したと想定した場合の退職金の推計値。支払いは先ですが、それぞれの職員が年度末までに提供した労働(勤続年数)を負債として扱います。

固定負債 合計 1,551億4,984万7千円

2 投資等

(1)投資及び出資金 148億 432万3千円 ...各種団体への出資金など

(2)貸付金 15億3,690万2千円 ...返済期限が来ていない貸付金

(3)基金 196億1,162万6千円
 特定目的基金 161億 762万6千円
 ...庁舎建設基金など、特定の目的のために資金を積み立てているもの
 土地開発基金 35億円
 ...円滑な事業執行のため、公用・公共用の土地を先行して取得するための基金
 定額運用基金 400万円

2 流動負債

(1)翌年度償還予定額 127億7,156万9千円
...市債の借入残高のうち翌年度に返済が必要となる元金の金額

(2)翌年度繰上充用金 0円

流動負債 合計 127億7,156万9千円

有形固定資産 合計 3,582億1,419万7千円

(うち土地 964億8,251万7千円)

投資 合計 359億5,285万1千円

3 流動資産 ...1年以内に現金化することが可能な資産など

(1)現金・預金 99億4,179万6千円
 財政調整基金 38億4,961万6千円
 減債基金 42億3,585万3千円 ...市債の返済のための積立金
 歳計現金 18億5,632万7千円

(2)未収金 40億8,103万1千円
 地方税 28億5,941万9千円
 その他 12億2,161万2千円

流動資産 合計 140億2,282万7千円

正味資産の部

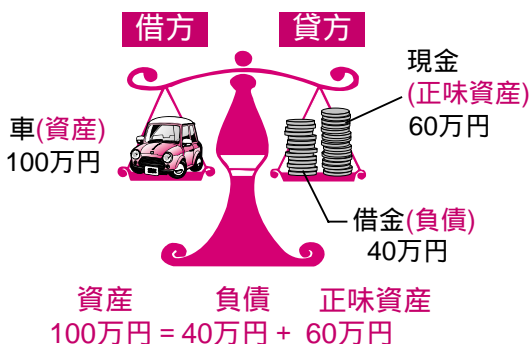
合計 2,402億6,845万9千円

...資産形成のため調達した資金で返済の必要がない金額

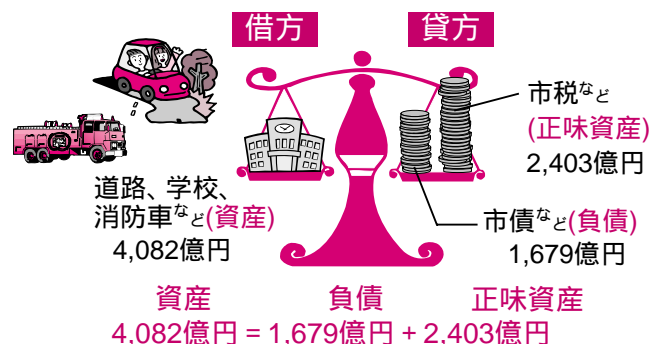
1 国庫支出金 685億8,258万6千円

2 県支出金 80億3,359万6千円

3 一般財源等 1,636億5,227万7千円



一般家庭の場合



秋田市の場合